



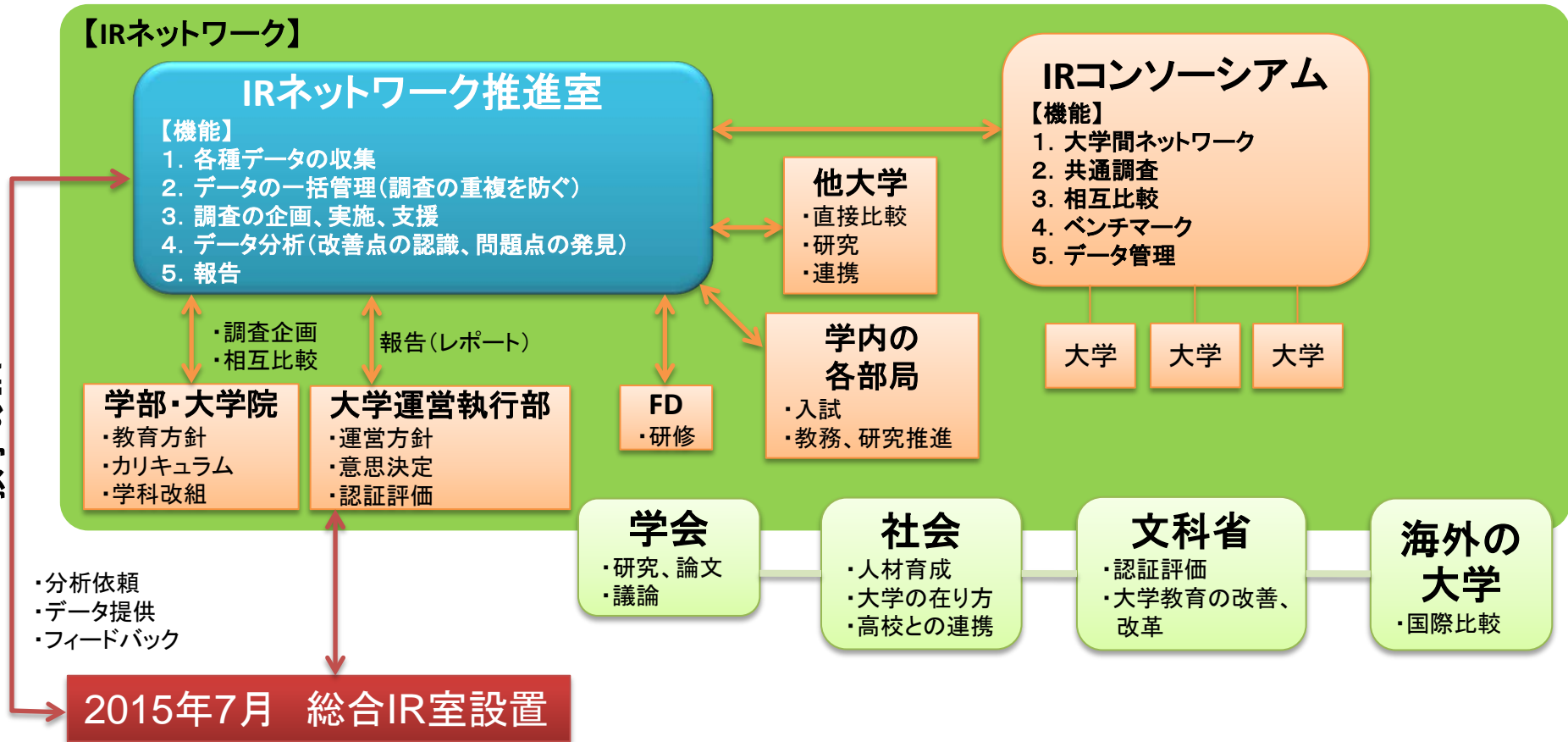
北海道大学

# 北海道大学の教学評価体制

北海道大学 高等教育推進機構  
IRネットワーク推進室

# 北海道大学の教学評価体制

教学のIR



## 総合IR室とIRネットワーク推進室

各部署保有の教学に関するデータ




### 総合IR室

- 総長直下に設置
- 専任職員：4名
- 各部署、執行部との連絡

### IRネットワーク 推進室

- 教学に関するIR
- 調査実施
- 集計・分析・報告

- 
- 教育担当副学長へ説明
  - 各学部部局長出席の会議にて説明
  - 新渡戸カレッジ※担当への説明
  - 総長への説明
  - ファクト・ブックの作成に寄与

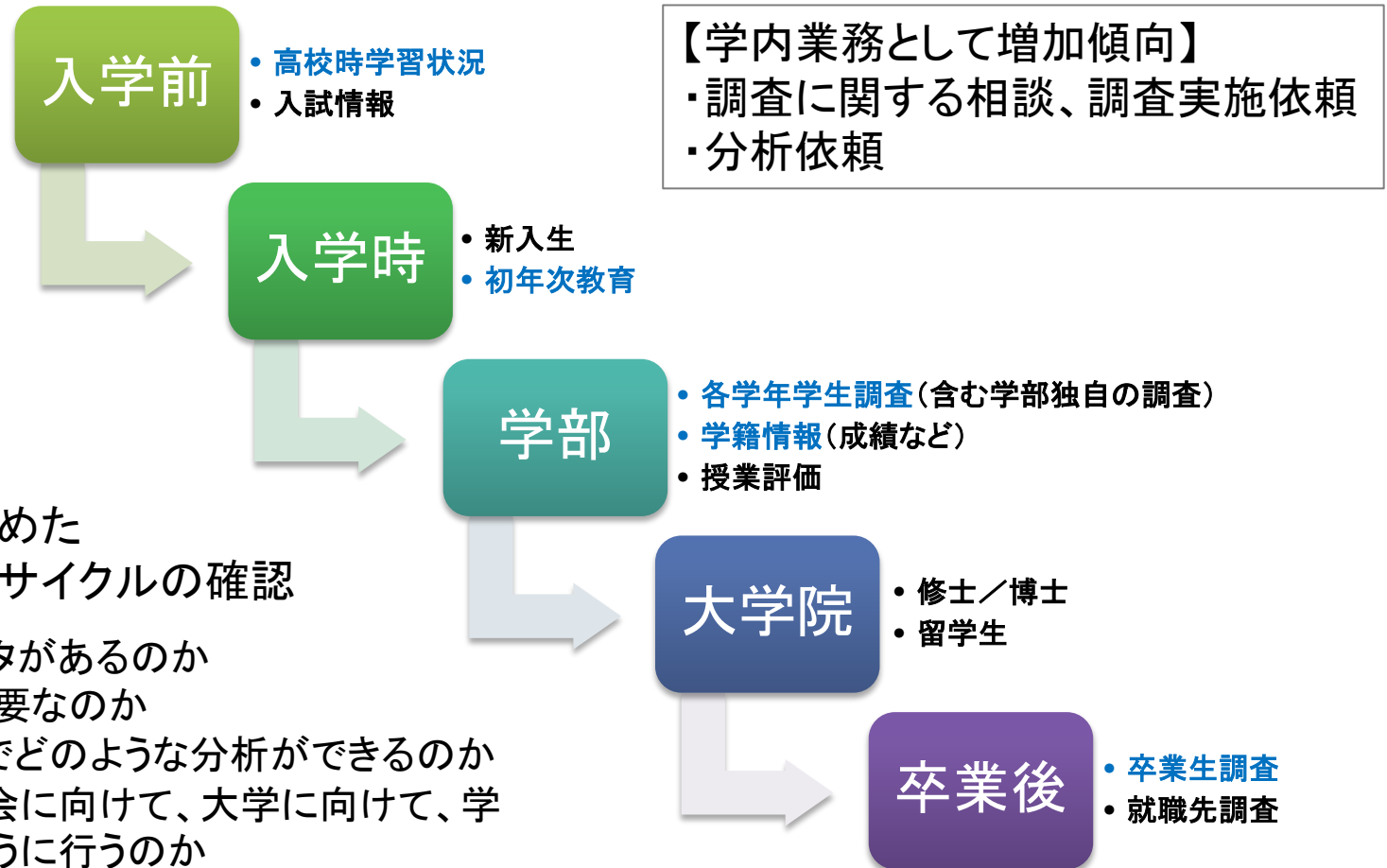
一方向の情報発信から  
双方向の意見交換へ

※：学部教育と並行して、豊かな人間性・国際性を育むために取り入れられた各種教育を実践する特別教育プログラム



# 教学に関するデータ

青字: 大学間連携事業およびIRコンソーシアム学生調査の対象



## 【学内業務として増加傾向】

- 調査に関する相談、調査実施依頼
- 分析依頼

学修過程、学外活動も含めた  
大学生生活全般のPDCAサイクルの確認

- どこにどのようなデータがあるのか
- どのようなデータが必要なのか
- データの組み合わせでどのような分析ができるのか
- フィードバック(広く社会に向けて、大学に向けて、学生に向けて)はどのように行うのか



## 執行部へのフィードバック過程

IRネットワーク推進室→総合IR室

分析可能データ(保有するデータ)の提示

総合IR室を仲介して、教学に関するデータをIRネットワーク推進室へ集約

*滞っていたデータの流れがスムーズになった。*

総合IR室→IRネットワーク推進室

分析内容の検討  
(総合IR室は執行部との懇談の中で必要とされる情報を把握)

総合IR室へフィードバック

総長へ直接説明

執行部へフィードバック

総合IR室とIRネットワーク推進室で分析内容の詳細を検討し、IRネットワーク推進室が分析、グラフ化、解釈



## 視察等問い合わせの増加 （今年度の特徴）

**組織、教学評価体制に関する問い合わせが多い**

**→多くの大学がIR部署を立ち上げようとしている**

- どのような部署がIRを担っているのか？
- 構成メンバーは？専任か、兼任か、何名か？
- それぞれの部署に所属する教員や職員はお互いにどのように連携しているのか？
- データをどのように活用しているのか？



## 学内におけるデータの活用、問い合わせ事例

### 【データの活用】

- 補助事業など各種予算申請の根拠資料
- 認証評価の根拠資料
- 自学の評価（特別教育プログラムの評価）

### 【問い合わせ事例】

- 自習時間（教育の質保証）
- アクティブ・ラーニングの実施状況
- 卒業生の評価／動向
- グローバル対応
- 調査の企画（質問項目の検討）
- 調査実施



## まとめ(北海道大学の課題など)

### 1) 調査に協力してくれた学生への調査結果のフィードバック

- ・ホームページ上へ公開するだけでなく、分かりやすく、学生の目に留まるような形でフィードバックしたい。

### 2) データの集約、部局間の連携

- ・総合IR室の設置で急速にデータの集約が進んだ。
- ・連携体制の構築(担当者:教員、事務職員との面談が重要)
- ・データ提供(部局として具体的な活用アイデアのないデータの提供があり、それと既存の学生調査などのデータを接続した分析に発展することも多い。)
- ・分析や報告の方針(例:学部間直接比較の結果は各学部には知らせない。)

### 3) 教育改革への道筋

- ・新渡戸カレッジ(学部)や新渡戸スクール(大学院)などの教育プログラム創出につながっている。
- ・専門教育においては、学部によって反応は様々。各学部の要望に合わせて、データの分析と提供を行い、のちにそれらが各部局内で具体的にどのように役立てられているのかを聞き取り調査している。

